

(様式第2号)

事業所名 グループホームきたがた湖山亭

## 目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 29年 5月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	5	安全管理上や玄関が共同ホールから死角になるところにある事から、不審者に気付にくい場所にある為、不安も大きい。しかし、施錠により利用者の不安等心理的影響を及ぼす可能性があるため、利用者が閉塞的な気持ちにならないよう散歩や外気浴、日光浴等、さり気なく気持ちを察知した支援を行っている。また、開錠に向けての定期的な検討を実施しているが、達成には至っていない。	日中は玄関の開錠を行う。	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月カンファレンスを行い開錠にむけて検討会を開催する。</li><li>・午前、午後少しの間でも開錠し、入居者様を外気浴や日光浴へお誘いする。</li><li>・外に出られたい時には、逸早く気持ちを察知し、気分転換できるように配慮する。</li><li>・花の手入れを行う。</li><li>・玄関へ出られた際は、さり気なく見守る。</li></ul>	1年
2	13	火災による避難訓練は、消防署、行政、区長、婦人会、近隣住民の方の協力の基防災知識向上が定着している。しかし、自然災害による対策は検討が始まったばかりである。	職員が災害に対する意識が定着する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災グッズ、非常食の整備</li><li>・防災訓練への参加</li><li>・避難経路の確認</li></ul>	目標達成しても継続して行う